



古文書が語る東大阪の歴史と魅力

江戸時代 「ハンコ社会」の始まり と「村」の運営

本市では、甲南大学と連携して古文書などの史料の調査整理を進め、その成果をみなさまにご紹介しています。今回は、江戸時代の村で使われていた『印鑑』、『村の運営と領主支配』をテーマに講演を行います。古文書から広がる歴史の時空を一緒に共有しませんか。

【とき】

令和2年1月26日（日）
13:00～16:00（開場 12:30）

申込不要

入場無料

【ところ】

東大阪市民美術センター 1階

当日先着
100名まで



※手話通訳をご希望の方は、令和元年12月27日までに市史史料室へFAXにてご連絡ください。

近鉄奈良線東花園駅下車北へ徒歩10分

周辺に有料の駐車場がありますが、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市史史料室のウェブサイトへ移動します。 →



【主催】東大阪市・甲南大学

【お問い合わせ】東大阪市人権文化部文化国際課市史史料室

電話 06-4309-3212 FAX 06-4309-3823

